

## はじめに

認知症の人と家族の会は、1980年の結成以来、認知症の人と家族が安心して暮らせる社会の実現を願って活動してきました。人としての尊厳が守られ、基本的人権が保障された生活を送ることは、乳幼児から高齢者まで、介護を要する人もそうでない人も、国民が共通に願うことです。その願いを実現するために、2009年の介護保険制度改定の結果を踏まえて、次のように提言します。

## 基本的な考え方

### 1 認知症があっても一人暮らしでも希望する自宅で、また施設でも安心して暮らせる制度へ

自宅や地域で暮らし続けたいと願う人が、見守られ、必要なサービスを受けられる在宅により重きを置いた制度に改定すること。施設にあっても、自宅と同じように過ごせ、一人ひとりが大切にされるケアと生活環境が保障されること

### 2 早期から終末期まで、切れ目ない支援体制を整備すること

認知症の早期発見・診断、初期の相談・家族への支援から終末期のケア・看取りまで、医療、保健、福祉が緊密に連携して切れ目のない支援が行われる体制を確立すること

### 3 認知症があっても“笑顔”で生きられる支援体制を整備すること

認知症の人や家族が地域・社会に受け入れられ、笑顔で暮らせるよう、仕事の継続や社会参加を支援する施策、市町村の実情にあった施策、地域の資源づくりなどを積極的にすすめること

### 4 介護に従事する人材の育成と確保のために待遇改善を継続的に図ること

介護に従事する人材を育成、確保して介護の社会化を実現するために、介護従事者の生活が保障され、安心して仕事に取り組めるよう待遇改善を継続的に図ること

## 5 暮らしを支え、生活を保障する社会保障制度へ

年金など自分の収入で生活が成り立ち、また介護保険サービスなど暮らしに必要なサービスが利用できる社会保障制度を確立すること

## 6 高福祉を応分の負担で

「高福祉高負担」か「低福祉低負担」か「中福祉中負担」か、ではなく「高福祉応分の負担」の社会保障制度であること。心にゆとりを持って安心して生活することができ、「過分」でも「過小」でもない国民の負担であること

### 具体的な改善提案

- 1 在宅で要介護4、5の人が支給限度額を超えて利用する場合は、全額自己負担ではなく介護給付を認める
- 2 必要な訪問介護の利用は同居家族の有無にかかわらず認める
- 3 認知症があると認められる場合には、要介護1以上の認定とする
- 4 若年期認知症の人が仕事を続けられるよう支援する体制をつくり、採用する事業体へは補助金を支給する
- 5 地域包括支援センターの全てに「認知症連携担当者」を配置するなど、地域のコーディネート機関として充実させ、介護保険給付実務は業務からはずす
- 6 介護支援専門員が中立、公平を保つことができ、質を高め、専門性が発揮できる体制とする。サービス利用に至るまでの相談支援にも報酬を認める
- 7 介護従事者の賃金、労働条件の改善を継続的に図るために、利用者の負担を増やすことなく、必要な対策を講ずる
- 8 要支援1、要支援2も介護保険給付の対象とし、予防事業は一般財源で行う
- 9 療養病床の利用者には、制度の推移にかかわらず、現状と同等の必要な医療と介護を保障する
- 10 認知症の人の一般病院入院時に、ホームヘルパーの付き添いを認めるなど対応の改善を図る
- 11 すべての都道府県、政令市に「認知症コールセンター」が速やかに設置されるよう必要な措置を講ずる
- 12 小規模多機能型サービスが安定して運営できるよう、必要な措置を継続的に講ずる
- 13 地域の家族の会など当事者組織の活動への支援を強化する



### 父に悲しい思いをさせてはならない

(夫に)「二人で死んでしまいませんか」と言ったら、「うん」と簡単に言われ、「一度しかない自分の人生をこんなことで中断してはいけない」と思い直しました。父が生存していますので、父に悲しい思いをさせてはならないという気持ちも働きました。

(69歳・女性 神奈川県)

### ふとドイツの旅が頭に浮かんで

ついかなって1階まで包丁を取りに降りて行った。妻を刺し、自分も死のうと思っての行動だった。その時、ふとドイツの街を妻と歩いたときのことが頭に浮かんだ。教会をのぞくと祈る人々の姿があった。「そうだ、日本にもお寺がある」お参りしたお寺のご住職の法話が身にしみた。

(78歳・男性 埼玉県)

### この笑顔にどれほど助けられたか

私の殺意が抑えきれなくなった時、姑がいつものように「なにしよんのー」と声をかけてきました。姑はいつになく優しい笑顔で立っていて、「私はこの笑顔にどれほど助けられたことだろう」と思うと涙があふれて、そっと姑を抱きしめました。

(60歳・女性 大分県)

あなたの思いを誰かに伝えてください。

あなたの言葉を聞かせてください。

### 「家族の会」で思い切り涙し

それが乗り切れたのは、孫の笑顔、解雇された夫に代わって私が仕事を持ったこと。「家族の会」の場で、思い切り涙し、仲間と分かち合えたこと。そして、癒してくれる愛犬がいたからです。

(66歳・女性 埼玉県)

📞 連絡を待っています。

「家族の会」認知症の電話相談110番



0120-294-456

(月～金10時～15時、祝日休み)

🏠 社団法人 認知症の人と家族の会

本部 〒602-8143

京都市上京区堀川通り丸太町下る京都社会福祉会館2F

TEL. 075-811-8195 FAX. 075-811-8188

<http://www.alzheimer.or.jp>

全国の44都道府県に支部があり、  
身近な所でつどいや電話相談をしています。

※支部の連絡先などはホームページでも見られます → [家族の会](#) [検索](#)

このリーフレットは「丸紅基金社会福祉助成金」を受けて作成しました。

# 死なないで! 殺さないで!

生きようメッセージ

同じ介護者から  
今、いちばんつらいあなたへ



社団法人 認知症の人と家族の会

Alzheimer's Association Japan





私たちは、

死んでしまいたい、殺してしまいたいという思いの瀬戸際で踏みとどまりました。そして、今、あの時踏みとどまって良かったと思っています。ぜひ、私たちの声に耳をかたむけてください。

つらい介護の中で、死にたい！ 殺したい！

と思うほどのあなたの気持ちは、  
同じ介護者として十分にわかります。  
わかった上で、あえて、私たちは、  
あなたに呼びかけます。

どうか、死なないでください！  
どうか、殺さないでください！  
生きましょう！

この呼びかけは、  
認知症の人を介護した体験を持つ

「家族の会」会員から  
寄せられた生の声です。  
これを読んで、一人でも  
「死なないでくれる」こと、  
「殺さないでくれる」こと、  
「生きようと思ってくださる」ことを  
心から願っています。

### 「この家から殺人者を出してはいけない」

何度、主人に「一緒に死にましょう」とお願いしたかわかりません。しかし、主人は「わしは死なん。この家から自殺者も殺人者も出してはいけない」と言いました。

(69歳・女性 香川県)

### みんなが今より幸せに

母一人、子一人、その母が認知症になって6年。今まで、「自分さえ我慢したら」とがんばってきました。しかし、自分のストレスも体力も限界がきました。性格上、殺人は無理。毎日死ぬことばかり考えていました。でも今、みんなが今より幸せになる方法を探しています。

(41歳・男性 長野県)

### 夫の「おかあちゃん」の一言に

この人を殺して自分も死のうと夫の首に手を持って行った時、夫の口から「おかあちゃん」。その一言に我にかえり、手をゆるめ、ごめんね。その日から、夫と病気に付き合っってゆこうと決めました。

(77歳・女性 奈良県)

### 「孫がかわいそうや」の老いた母の言葉に

殺すこと、心中することばかり考えていると実母に話しました。すると、「辛抱や」が口癖の老いた母が「殺すのやったら帰っておいで、孫が殺人犯の母を持ったら一生かわいそうや」と泣きながら言いました。

(67歳・女性 奈良県)

### 夫の口笛に泣きながら歌って

散歩に出て、崖のところ立って眺めている時、「ここで体当たりして二人して落ちたら死ぬのだろうか」という思いを何度も持ちました。そんなある日、夫が口笛を吹いたのです。夕焼け小焼けの歌でした。泣きながら歌いました。

(79歳・女性 静岡県)

### 「どうか皆様、死なないで」

何度死にたいと思ったことか。でも何とか元気で介護しております。どうか皆様、死なないでください。生きていて良かったと思う日が必ずきます。

(57歳・女性 千葉県)